



2008 年 5 月 1 日発行
発行人：村尾 憲一郎
発行所：〒650-0024 神戸市中央区
海岸通 8 神港ビルヂング 509
TEL：078-393-0050
FAX：078-393-0051
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL：<http://www.kobekeio.org/>
編集：堀 友子

～～4 月例会レポート～～

佐藤 保久 (昭和 41 商)

平成 20 年度最初の例会が、去る 4 月 25 日(金)、神港ビルヂング 1 F A 会議室にて開催された。

当日の出席者は、広瀬会長以下 31 名。

いつも通り、村尾幹事長の軽妙な司会でスタート。

広瀬会長より、ご挨拶とともに、150 周年記念事業の一環として新設される慶應義塾大阪キャンパスに関するお話が紹介され、その後ゲストスピーカーをお迎えしての講演会が開催された。

本日の講師は、康乗克之氏 (昭 58 商)。
演題は「企業不祥事を科学する」。

同氏は卒業後、監査法人、リスクコンサルティング会社、国際会計事務所を経て、現在 (株) フラッグインマネジメント代表を務められており、昨年には神戸オフィスを開設されるなど幅広い活動をされている会計士補・企業コンサルタント。



講演では、洋菓子不二家、証券大手の日興コーディアルのケースを紹介されながら、企業不祥事の表面化が、いかに企業価値を下落させるかについて指摘された後、不祥事のメカニズムと防止策のポイント、企業価値向上マネジメントについて詳細に解説された。さらに、一般事業会社のみならず、病院経営、スポーツ・クラブチーム運営に関するケースを紹介されるなど、大変中味の濃い講演であった。

特に、組織の肥大化が、組織内コミュニケーションをいつの間にか阻害しているケースが多い、

経営者層から一人ひとりの従業員まで経営ミッションを共有することの難しさ等の指摘は、会員にとってそれぞれの立場から所属組織における不祥事対策を改めて考えさせる契機になったと思われる。

また、昨今、企業不祥事対策＝コンプライアンス重視＝法令順守、いうなれば「法令さえ守っていればよし」とする風潮が強いわけだが、企業経営にとって最も大切なことは、コンプライアンスをより広義に解釈し、経営全般にわたるインテグリティ(誠実性)をいかに高めていくかに尽きる、とする講師の考え方には、強い説得力があり、一堂納得であった。

講演後の質疑応答では、わが国の企業経営が、あまりにもグローバルスタンダードに縛られた結果、利害関係者(ステークホルダー)同士の利害対立が、企業不祥事をもたらす潜在的要因になるのでは、とする意見が開陳されるなど、大変盛り上がった 1 時間 15 分であった。

～～2008 年度総会のお知らせ～～

日時：5 月 28 日 (水) (受付 18:00～)

定時総会：18:30～19:00

懇親会：19:00～

場所：神戸外国倶楽部

詳細については 6 ページ目をご覧ください。

会員だより

《イタリア聖地巡礼の旅(1)》

浅沼 清之(昭36経)

4月上旬に、10日間程掛けてイタリア聖地巡礼の旅に出かけた。

アッシジ、グッピオ、ペルージア、フィレンツェ、ヴァチカン、ローマの教会・聖堂等を巡り、ローマ法皇謁見にも出席する旅である。カトリック教会が主催し、2名の神父が同行された。一緒に参加した中高時代の友人2名は信徒であるが、私達夫婦は非信徒で、初めての体験であった。

最初に訪れたアッシジは、イタリアでも最も古い都市の一つ、ここには紀元前10～12世紀まで栄えたエトルリア文化の遺跡、ローマ文化の遺構があり、町全体に中世の面影を残している。12世紀後半、聖フランチェスコと、聖女キアラの誕生の地として巡礼に訪れるカトリック教徒が多い。教皇グレゴリウス9世が、フランチェスコを、1228年没後2年目に、列聖し、その直後に着工されたサン・フランチェスコ大聖堂は、精神と絵画と建築が見事に融和したバジリカである。イタリアン・ゴシック芸術の典型と言える。地下墓所には、聖フランチェスコと4人の修道士が眠り、上部聖堂の壁面に「フランチェスコの生涯」を画くフレスコ画(ジョット作)がある。聖フランチェスコが息をひきとったポリツィウンコラ礼拝堂のある「サンタ・マリア・デリ・アンジェリ教会」や、聖女キアラが42年間過ごし、息をひきとった「サン・ダミアーノ教会」は、城壁の外側にある。日が傾き晩禱の時刻が来て、数多い聖堂の鐘が鳴り始めると、胸の底まで響いてくる思いであった。

アッシジから、バスで、グッピオ、ペルージアを訪問する。グッピオはウンブリア州の北東部インジノ山の中腹の町で、起源はエトルリア時代に遡る。13世紀建立のサン・フランチェスコ教会が、町の入り口にあり、町が山に向かって広がっている山の頂上近く、最上部にドゥオモが見上げるように建っている。

グッピオから約40分で、ウンブリアの州都ペルージアに着く。この町もエトルリア時代から栄えた町、古さと活気と、丘陵地帯ならではの眺望が楽しめ、イタリアの地方都市の魅力に溢れている。

巨大な石造りのエトルリア門は、4千年以上もこのペルージアの町に聳える歴史の遺産である。

ペルージアの次に、ラベルナ山にあるラベルナ修道院を訪問した。聖フランチェスコが、修道会を離れ孤独な隠遁生活に入ったのが、このラベルナ山の洞窟であった。長い断食と祈りの後、有名な「聖痕の奇蹟」が起こったといわれる。両手、両足、脇腹に五つの傷ができ、キリストの受けた傷と場所、形状も酷似していたという。

次の訪問先はフィレンツェとなる。

サンマルコ修道院は、かつてのドミニコ会修道院である。現在はサンマルコ美術館といわれ、フラ・アンジェリカと弟子による、優美なフレスコ画で飾られている。「受胎告知」がよく知られている。サンタ・マリア・デルフィオーレ大聖堂(ドゥオーム・カテドラル)は、13世紀末から175年かけて建造された。3万人が一同に会することができる。このドゥオームの前にある八角形の洗礼堂は、11～13世紀の建築であるが、ダンテがかつて、ここで洗礼を受けたといわれている。サンタ・クロチェ教会は、ミケランジェロ、ロッシーニ、ガリレイ、マキアヴェリの墓や、ダンテの記念廟がある。ジョットのフレスコ画「サン・フランチェスコの生涯」がバルディーニ礼拝堂にある。

最後の訪問先はヴァチカンとローマになる。ヴァチカン広場での「ローマ法皇謁見」を始めて経験したが、現在のローマ法皇ベネディクト16世と数名の枢機卿が出席し、聖ベネディクト(486～547モンテカッシーノ修道院の創設者)の考察がテーマであった。全ての各国参加団体の名前が、枢機卿によって読み上げられた。



《カメラと写真のことなど》

堀 雅博 (昭 54 経 済)

カメラと写真が好きで、ぱちりぱちりと撮り始めてから 10 数年、色々な場所・時間・空気・人・家族などを撮り貯めて来ました。

当初はネガフィルム、その後ポジフィルム (いわゆるスライド用のフィルムですね) を長く使っていました。現像したフィルムをライトボックスに載せてルーペで見ると、自分で撮ったとは思えないくらい綺麗な世界が広がっています。平面のフィルムでありながら、奥行きを感じ、その場の空気感も写っている、そんな魅力がありました。

時代は変化し、今や銀塩写真に代わり、デジタルカメラ全盛期。フィルム代や現像料が高んできたことや、撮り貯めたフィルムの整理に時間が取れなくなって来たこともあり、とうとう昨年、銀塩からデジタルに切り替えました。マウントアダプターを使って、今まで愛用して来た CONTAX 用の CARL ZEISS レンズを使えると知ったことも、切り替えのきっかけとなりました。

今は CANON EOS 5D (一眼レフ) と RICOH GR DIGITAL (コンパクトカメラ…神戸慶應倶楽部の行事でも使ってます) を愛用しています。

ライトボックスとルーペで見る楽しみはなくなりましたが、デジタルカメラならではのメリットは色々と感じます。フィルムに比べ、一度に沢山撮れること。フィルムときは 36 枚撮り 1 本を撮っても、「あ、これ良いかも」と感じるのは 1 コマか 2 コマ。デジタルでは、明らかな失敗写真はその場で消去もできます。家に帰ればすぐパソコンに取り込んで、フォルダに分けて整理ができること。ネットでのサービスも充実して来て、取り込んだ写真をプリント注文、自宅に配送してくれるシステムなどもあります。

デジタルカメラの進歩は、より多くの人々が写真を身近に楽しめるようにしてくれたのでは、と思います。性能も良くなり、操作も簡単になり、誰でも少しの知識と好奇心があれば、プロ顔負けの写真も撮ることも可能です。気になる風景などを気軽に切り取ってみれば、自分にとって忘れられない一枚になるかもしれません。



写真はその時その場所にいなければ撮れないも

の。同じ場所でも季節が違えば全く違う風景になり、同じ日でも時刻が違えば光が違う。その一瞬、自分がそこにいた、という記憶を写真で残すことができます。

最初は自分の撮った写真を人に見てもらおうことなど考えもしませんでした。思い切ってホームページを作ってみて、今は色々な人に写真を見てもらっています。あまり頻繁に更新はできていませんが、お暇なときにでも覗いてみていただいて、ご意見や感想など頂ければ嬉しいです。「この程度なら誰でも撮れる」とホームページを立ち上げられる方がいらっしゃればそれも楽しいと思います。

娘たちを撮るために始めたような写真ですが、今は彼女たちは友人と撮るプリクラの方が 100 倍楽しくて、被写体にする機会はあまりなくなりました。レンズは外に向けることにして、これからは神戸を拠点に、気になる風景を見つけ、季節を感じ、加えて「これを撮りたい!」というテーマを見つけて撮り続けて行きたいと思っています。

http://web.mac.com/hori_masahiro/

《慶早ゴルフ対抗戦》

4 月 4 日 (金) 慶早ゴルフコンペが廣野ゴルフ倶楽部にて開催されました。

神戸早稲田倶楽部より 17 名の参加をいただき、当倶楽部からは 12 名が参加し、桜満開の絶好のコンディションのなか、プレーと懇親会で大いに盛り上がりしました。

対抗競技は各倶楽部の上位 7 名によるネット合計で競われ、神戸早稲田倶楽部が勝利致しました。個人戦では優勝：森本泰暢、2 位廣川まもりさん (慶)、3 位蟻田尚邦さん (早) という結果でした。

秋は早稲田主催で **9 月 3 日 (水)** に神戸ゴルフ倶楽部で対抗戦が開催されます。皆様の参加をお待ちしております。

出席者は以下の通り (敬称略) です。

広瀬 努・森 隆・五代友和・杉本正昭・高金俊博・佐井裕正・山上高弘・廣川まもり・喜多村晴雄
渡辺義博・野田敬二・森本泰暢 (記事：森本)

同好会だより

イーゼル会

《今月の絵》



村田修一 (昭39商)

会員募集中！ 第1・3木曜日に教室を開いています。体験入学大歓迎です。

世話人：前田 剛資 (昭39工)

KKJC

♪西宮ジャズ8 days 2008♪

西宮市が中核都市に移行した記念として、4月6日から11日まで8日間ジャズ三昧のイベントが、西宮市の各会場で開催された。

8日、我々KKJCメンバー数名は、大手前大学のホールで行われた「黒岩静枝 in 夙川」に参加。日本屈指のジャズシンガー黒岩静枝は、'60年代ベトナム米軍キャンプで鍛えあげた「魂をゆさぶり、心をときめかせる」迫力ある歌唱で聴衆を酔わせてくれた。前半は本格ジャズ、後半は日本語で、特に「白い思い出」(ダークダックスのカバー曲)には胸が熱くなった。

また塾の大先輩でもある神戸ジャズの大御所・鍋島直昶さんもステージに出演。新アレンジの「春が来た」では元気いっぱいのスウィングで大活躍であった。傘寿記念ライブを2年前にされたとは思えない若々しさであった！

11日には宮本直介さんとの共演、西宮名物「二人の直さん」ライブにもメンバー数名が聴きに行ったようである。

(記事：堀)

囲碁同好会

○4月4日(金) 13時より通常例会 10名参加

18時より水戸夕香里プロの指導碁

3面打ちの対局(安永・小林・平田・広間・金刺・菊田) いずれも勝利者なし。反省また反省！

○4月19日(土)「慶應囲碁部OB大阪会」で初の慶早交流会が行われました。

場所：中央電気倶楽部

参加者：慶應10名。早稲田8名

一人2局から4局と計29局が打たれ、楽しく親睦がはかれました。早稲田の昭和15年卒

(91歳)の5段の方が活躍されたのには驚かされました。

○オーストラリア囲碁親睦旅行

4月6日から14日まで銀座慶應囲碁同好会による第5回オーストラリア(ブリスベン) 囲碁親睦旅行に去年に続き菊田が参加。

<お知らせ>

慶應創立150周年記念行事として慶早各150人の囲碁対抗戦が12月6日(土)に東京の日本棋院で行われます。

申し込み方法は追って案内いたしますが、是非皆で参加いたしましょう！

世話人：菊田義正 (昭42商)

ゴルフ同好会

《神戸慶應倶楽部・KLA ジョイントゴルフ》

田嶋 紀雄 (昭39工)

神戸慶應倶楽部ゴルフ同好会と関西婦人三田会(KLA)の合同ゴルフコンペが4月11日にタイガースゴルフクラブで行なわれました。前日の雨でフェアウェイの所々で水を含んでいる状態でしたが、何とか好天に恵まれ楽しくプレーが出来まし

た。

参加者が10名で男女5名ずつでしたので、直前に男女対抗戦をやろうという事になり全員参加で皆さん頑張りました。

結果は、ダブルペリア方式で優勝は梶原さん（KLA ゲスト、前理工学部 OB 会関西支部長）89（46、43）＝ネット 72.2、2 位：田嶋、3 位：廣川でした。

対抗戦の結果はネットトータルが、男性軍 378.2 女性軍 384.0 で 5.8 ポイントの僅差で男性軍の勝利でした。1 人当たり 1 ポイント余りの差の白熱した戦いになりました。前半は女性軍が有利な状態でしたので、ブービー賞で奮闘した渡辺幹事は男性軍の勝利に胸を撫で下ろしていました。女性軍の皆さん次回はリベンジ目指し頑張ってください。



会員の輪

《上海での思い出》

高金 俊博（昭 48 商）

私は 1973 年にダンボールのパイオニアでありますレンゴー(株)に入社し 35 年になります。この間、日本は札幌、静岡、東京、新潟、岡山と転々としダンボールの販売一筋で参りました。

2002 年 10 月に辞令を貰い、12 月に生まれて初めて上海に渡りました。大変な不安と大きな期待がありました。と言いますのも、大学時代今は無き石川塾長のゼミで『現代中国論』を受講したからです。現代中国論といいますのは、1949 年 10 月 1 日の毛沢東による中華人民共和国設立以降の政治史を学ぶものでした。卒業以来いつかは中国に仕事で行ってみたい希望がありましたが、残念

ながら 30 年近く叶わなかったのですが、ようやく実現しました。12 月 24 日に正式赴任し上海浦東空港に降り立ちましたが、空港の大きさ、中国語で大きな声で喋りまくる中国人を目の当たりにし圧倒されっぱなしでした。

就業 VIZA、居留証発行、健康診断など日本では全く経験したことの無い諸手続を通訳同行の下こなしていきました。中国ではわが社は運転禁止で全て運転手付の車があてがわれます。もちろん通訳も美人の女性がついてくれました。

私の主要な業務は、日系メーカーに、上海聯合のダンボールをより多く販売することでした。ビジネスの大きな違いは日本人同士良いパートナーの関係が出来ても、実務は中国人が握っており、彼らは既存の業者との付き合いの中でしがらみがあり、簡単には取引が出来ないというもどかしさが沢山ありました。“賄賂”というものを堂々と要求してくることも多々ありましたが、私どもは全く応じませんでした。日本以上に品質・価格にも厳しく中国ビジネスの難しさを痛感したものでした。しかし中にはお互い理解し会える中国人も出来、食事を出来る関係にもなり、乾杯、乾杯で最後には意識がなくなったことも 2、3 度ありました。言葉の問題もあり、休日はずっと日本人とのゴルフで過ごしました。特に印象に残っているのは、雲南省にある昆明の『春城（スプリングシテイ）』というゴルフ場です。ここは標高 2000 メートルにあり、一年中春の気候です。湖のほとりに 36 ホールあり、ジャックニクラウスとロバート・T・ジョーンズが設計した東洋一のコースといわれています。聞きしに勝る素晴らしいコースでここで最後にプレーが出来本望でした。

今、餃子事件など相変わらずギクシャクした関係がまだありますが、一般市民は日本にも理解を示しますので、私も今後とも民間外交で少しでも日中の架け橋に貢献できるようにしたいと願っております。

普段、会の行事に出席できない方、遠隔地の方も誌面に登場して参加してください。皆さんの投稿をお待ちしています。

堀 友子 tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp

～2008 年度総会のご案内～

日時：5月28日(水) (受付 18:00～)
定時総会：18:30～19:00
懇親会：19:00～

場所：神戸外国倶楽部

<http://www.kobeclub.org/>

〒650-0002 神戸市中央区北野町 4-15-1

TEL 078-241-2588

トアロードを北へ行き、突き当たり手前左側に、入り口があります。

会費：会員・会員家族：9,000 円
ビジター：10,000 円

【定時総会議案】

第1号議案 平成20年度役員人事について

第2号議案 平成19年度事業報告ならびに収支決算について

第3号議案 平成20年度事業計画ならびに収支予算について

その他 報告事項

本年度は、倶楽部役員の定例改選期にあたりますので、多数の会員各位にご参集頂き、新たな門出を、外国倶楽部特製の美味しいお料理とお酒で共にお祝いくださいますようお願いいたします。

◎ 出欠の締め切りは、5月21日(水)です。

当日飛び込みで出席される方が見受けられますが、食事数に影響がありますので、必ず事前にご連絡をお願いいたします。

～事務局よりお願い～

◆例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、必ず事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、当日のキャンセルにつきましては会費全額を頂きますのでご了承ください。

◆住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、必ず事務局にお知らせください。

～6月例会の予告～

「慶應義塾常任理事 森 征一氏 講演」

日時：6月19日(木) 18:30～20:30
(受付 18:00～)

場所：神戸ポートピアホテル

会費：6,000～7,000 円 (後日決定いたします)

2008年は塾創立150年の年。塾より森 征一常任理事、大下亨治塾員センター部長が来神され、塾の近況、未来についてご講演いただきます。神戸慶應倶楽部会員相集い、森征一常任理事を歓迎したく存じますので、会員各位におかれましては、今から予定して頂き、多数のご参加をお待ちしております。(詳細は次号でお知らせします。)



《吉野の桜》

遅まきながらお花見を楽しんでください。

写真提供：渡辺義博

編集後記

○ようやく新緑映える爽やか季節がやってきました。色鮮やかな花々も心和ませてくれます。ほんの小さなタンポポでさえ存在を主張して愛おしい。
○好奇心こそが元気の源。そんな先輩がこの倶楽部には大勢いらっしゃいます。私もそんな背中を見て、色んなところに首を突っ込んでいますが、中々ものになりません。でもその途中に生きがいを感じています。
(ほ)